



心あったかニュース

世界への桜前線

日本の桜前線は、北の方へ行ってしまうましたが、地球の桜の様子ニュースがありまして、ご紹介します。海外の桜の名所「ウェザーニュースより」ワシントンD.C.のタイダル・ベイソン、ポトマック河畔付近にある桜並木の桜は、100年以上も前に日本から贈られたもので、今でも日米親善の架け橋となっています。ここにはアメリカ合衆国初代大統領ジョージ・ワシントンの功績を称えたというワシントン記念塔と共に、迫力抜群の桜並木を眺めることができます。カナダ、バンクーバーでは、市内のいたるところに桜があり、中でも「スタンレー・パーク」や「ライオン・エリザベス・パーク」が桜の名所と言われています。こちらの桜も、1930年代に日本から寄贈されたもので、現在は桜の開花に合わせて「バンクーバー桜祭り」が開催されています。ドイツのベルリンの壁崩壊後、日本のテレビの企画で贈られたことがきっかけで増えたというベルリンの桜。その

桜はベルリンの壁の跡地に植えられています。それ以外にも、ベルリン大聖堂のすぐ近くにも桜があり、桜と大聖堂のコラボ写真を撮ることも可能です。北欧の王国、スウェーデンの首都ストックホルムでも桜を楽しむことができます。こちらも1998年に日本からスウェーデン国王に寄贈されたもので、王立公園をびっしりと桜が埋め尽くします。スウェーデンは日本よりも暖かくなるのが遅いため、開花は4月下旬から5月中旬ごろ。日本のゴールデンウィークのタイミンでちょうど満開を迎えるようです。東アジアには日本とは異なる種類の桜もたくさんあるそうですが、台湾の桜の名所である阿里山の桜は、その多くが日本から輸入されたそうです。中でも最も人気なのが「桜王」と呼ばれる一本桜で、毎年多くの観光客が訪れる人気スポットになっています。

編集後記
日本で愛されている桜が地球上のあちこちで、その土地の人に愛されて、活躍していることを知ると、うれしいですね。花が美しいと思うのも、春がきたことをうれしく思う気持ち、優しい桜の色に心があたたかくなる気持ちは、どの国も同じなのです。

にかけて花見客が激増している。その訳は公園の両脇に植樹された63本の桜の木が人々を魅了しているからだ。種類はアーコレード桜といい、英国で育成された大山桜と彼岸桜の交配種だ。花は弁縁から淡い紅色を帯びる半八重で大輪、記念樹やシンボルツリーとして最適と評判でもいる。この大輪のアーコレード桜を一目見ようとやってくる人は絶えず、今では春のストックホルムの観光スポットの一つにもなっている。